

日本形成外科学会は、日本形成外科学会特定分野指導医制度：皮膚腫瘍外科分野指導医細則および同施行細則に基づき、皮膚腫瘍外科分野指導医認定審査を下記の要領で実施いたします。

## 1. 分野指導医認定審査申請者の資格

- 1) 日本国の医師免許を有していること。
- 2) 日本形成外科学会認定専門医の資格を有していること。
- 3) 日本形成外科学会認定専門医を取得後、日本形成外科学会の認定施設か教育関連施設もしくは皮膚腫瘍外科分野指導医が常駐している施設で、3年以上の研修歴を有していること。
- 4) 日本形成外科学会学術集会(基礎学術集会、各地区の形成外科学会学術集会および地方会も可[旧称：日本形成外科学会 支部学術集会および地方会])における皮膚腫瘍外科領域に関する2回以上の発表歴(筆頭もしくは発表指導者)、あるいは皮膚腫瘍外科領域に関する1編以上の学術論文執筆歴(筆頭もしくは筆頭指導者)を有していること。
  - \*学術集会の発表歴には、特別講演や教育講演などの講演歴、ランチョンセミナーなど関連プログラムでの講演歴、学術集会での座長や司会歴も含まれる。
  - \*執筆指導者(発表指導者)とは、共同執筆者(発表者)の中で最も指導的立場にいる執筆者(発表者)が該当する。
- 5) 日本形成外科学会の総会・学術集会および基礎学術集会の会期中に、日本形成外科学会が主催する皮膚腫瘍外科分野指導医認定教育セミナーの受講歴を2回以上有していること。

## 2. 認定審査提出書類

日本形成外科学会特定分野指導医細則および同施行細則に基づき、以下の1)～9)の認定審査書類をご提出ください。なお、様式1～6につきましては、日本形成外科学会ホームページよりフォーマットをダウンロードして、ご使用ください。

### ■日本形成外科学会ホームページURL

< <http://www.jsprs.or.jp/specialist/shorui/index.html#contents5> >

- 1) 日本形成外科学会特定分野指導医認定申請書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (様式1)
- 2) 履歴書・・ (様式2)
- 3) 研修証明書  
日本形成外科学会認定施設及び教育関連施設における研修・・・・・・・・・・ (様式3-A)  
日本形成外科学会認定皮膚腫瘍外科分野指導医が常勤している施設における研修・・・・・・・・・・ (様式3-B)
- 4) 日本形成外科学会専門医認定証 (コピー)
- 5) 業績目録[認定審査用]・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (様式4)
- 6) 症例の記録(症例記録PPT) ※CD-Rでの提出・・・・・・・・・・・・・・・・ (見本PPT参照)
- 7) 10症例チェックリスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (様式5)
- 8) 手術症例の一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (様式6)
- 9) 教育セミナー受講証明書(2回分)
- 10) 認定審査料振込の領収書(コピー)
- 11) チェックリスト

## 3. 認定審査料

10,000円を所定の口座にお振り込み下さい。なお、既納の認定審査料は返還しません。

## 4. 書類提出期間

**4月1日～5月31日[消印有効]**

## 5. 書類送付先および認定審査料振込先

認定審査提出書類は、**書留またはそれに準じる方法**で委員会へ送付して下さい。

〒169-0072

東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムダックスビル9F  
日本形成外科学会事務局 皮膚腫瘍外科分野指導医認定委員会

※振込みは金融機関備え付けの用紙をご使用下さい。

\*通信欄に「皮膚腫瘍外科分野指導医認定審査料として」とご記載ください。

【ゆうちょ銀行から送金の場合】

郵便振替口座：00140-8-51198

加入者名：日本形成外科学会 認定医認定委員会

【他の金融機関から送金】

銀行名：ゆうちょ銀行

支店名：〇一九店(ゼロイチキュー店)

預金種目：当座

口座番号：0051198

6. 皮膚腫瘍外科分野指導医認定 書類審査の実施時期

8月末頃に実施予定です。

7. 分野指導医認定審査 試験の実施時期

口頭試問認定審査（面接時間は9月中旬頃を目途に連絡いたします）

日本形成外科学会 基礎学術集会前日に行います。

8. 認定審査の結果の発表および登録

認定審査の結果は、分野指導医認定委員会が理事長に報告し、理事会の議を経て申請者に通知します。合格者は、認定登録料 10,000 円を所定の口座にお振り込みください。認定登録料の納付を確認した後、理事長が学会の分野指導医資格名簿に登録のうえ公示します。認定証は、追って理事長が本人に送付します。

9. 申請書類記入・作成に関する注意事項

1) ダウンロードした書類に作成してください。

2) 年号の記載は西暦を用いてください。

3) 研修証明書について、研修された期間によって以下の通り、様式が異なります。

(様式3-A)・・・日本形成外科学会の認定施設 or 教育関連施設の場合

(様式3-B)・・・日本形成外科学会の皮膚腫瘍外科分野指導医が**常勤している施設**の場合

4) 業績目録[認定審査用](様式4)に併せて、

学術集会プログラム抄録集の申請者の発表(講演)が掲載されているページのコピー  
論文の最初のページ(題名と執筆者が記載されている)のコピー

を添付し、該当申請者名に下線を引いてください(業績については本会入会後のものとします)。

5) 症例報告(症例記録、手術症例の一覧表)を作成する際、以下の点にご留意ください。

(症例については本会入会後のものとします)

・症例報告として、見本の 10 症例パワーポイントを参照の上、症例記録 10 症例、手術症例の一覧表 100 例（様式 6）を提出して下さい。症例は執刀例、指導的助手担当例に限ります。

制度施行細則第 3 章、第 9 条に該当する研修施設以外で行われた症例も報告できます。

・**症例記録（10 例）**は、術前、デザイン(シェーマでも可)、病理組織、術後 6 ヶ月以上経過の写真が必要とします。

術中、術直後の写真(必要あれば CT、MRI 画像など)も可能な限り提出してください。

写真はパワーポイント形式で作成し、CD-R に保存して提出してください。

※1 症例 1 パワーポイントではなく、10 症例 1 パワーポイントになるように保存してください。

悪性腫瘍の症例では、TNM 分類を記載してください。

なお、原本は申請者が責任をもって保管してください。

※病理組織は説明文を 40 文字程度で記載してください。

・**症例記録（10 例）**は、下記手術が該当します。

申請者が執刀した（指導、指導的助手も含む）皮膚腫瘍外科としての経歴の中で、代表的な症例を提出してください。

i) 疾患の条件

上皮系、付属器系、神経外胚葉・神経堤系、間葉系の各種良性および悪性皮膚・軟部組織腫瘍を対象とします。

※耳下腺腫瘍、皮膚・皮下組織・軟部組織以外の頭頸部腫瘍（舌癌など）、先天奇形（副耳）、血管腫血管奇形（摘出以外の術式の場合）、乳癌などは除く

ii) 術式の条件

他診療科が切除した後に、再建を担当した症例においては、切除に関する十分な知識を必要とします。

a) 植皮を施行した皮膚腫瘍外科手術

b) 局所皮弁／有茎皮弁を施行した皮膚腫瘍外科手術

c) その他

・分割切除や神経、血管束の剥離を施行した皮膚腫瘍外科手術

・遊離皮弁を施行した皮膚腫瘍外科手術

・皮膚腫瘍に対するセンチネルリンパ節生検（色素法、蛍光色素法または RI 法）

・皮膚腫瘍に対するリンパ節郭清術（頸部、腋窩、鼠径部）など

注 1：上記 a)、b) は必須の手術例です。

a) と b) の症例の合計が 5 例以上（うち執刀が 3 例以上）必要です。

ex. a) 4 件と b) 1 件 → OK a) 5 件と b) 0 件 → NG a) 0 件と b) 5 件 → NG

注 2：同一症例を、上記 a)～c) の複数のカテゴリーにて提出することはできません。

注 3：悪性腫瘍は最低でも 5 例以上必要です。

注 4：同一部位で、かつ同一腫瘍の症例は 2 例までとします。

iii) 部位の条件

被髪部、顔面部（眼瞼／眼角部、鼻部、耳部、頬部、口唇部等）、手部の症例が計 5 例以上必要です。

・**手術症例の一覧表（100 例）**は、下記手術が該当します。

i) 疾患の条件

上皮系、付属器系、神経外胚葉・神経堤系、間葉系の各種良性および悪性皮膚・軟部組織腫瘍を対象とします。

術式、部位の条件はありません。

なお、症例記録（10 例）と同一症例を提出することはできません。  
また、レーザー治療、硬化療法も症例として提出することはできません。

## 10. 申請書類記入上の注意

### 10 症例

- 1) 資格審査・口頭試問の対象になります。
- 2) 平易な手技【**複雑な操作を伴わない一期的切除**】の症例はマイナー症例とみなします。  
10 症例中、2 症例以上にマイナー症例がある場合には、原則として不合格といたします。  
皮膚腫瘍外科分野指導医を取得するための試験のため、指導医を取得するための代表的な症例を提示してください。  
平易な手技の例：良性腫瘍、粉瘤、色素性母斑、皮下脂肪腫などの局所下での単純切除・単純縫合など
- 3) 認められない術式の条件例  
平易な手技、レーザー治療、硬化療法、乳房再建など  
※疾患としては問題ないけれども切除の仕方によっては不合格になることがあります。

注：委員会において、症例報告（症例記録、手術症例の一覧表）として相応しくない症例として認定された場合は、書類審査が不合格となりますので、ご注意ください。  
詳しくはホームページ上の以下のURLに掲載されているQ&Aをご参照ください。  
(<http://www.jsprs.or.jp/member/committee/module/17/hifuQA.pdf>)

## 10. 問い合わせ先

〒169-0072

東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムダックスビル9F

日本形成外科学会事務局 皮膚腫瘍外科分野指導医認定委員会 宛

E-mail: [jsprs-office01@shunkosha.com](mailto:jsprs-office01@shunkosha.com)

お問い合わせは、E-mail にてお願いいたします。